

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業  
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	7
学校名	富山県立滑川高等学校

学校の現状と課題	本校は海に近く自然に恵まれ、地元からも親しまれる環境にある。普通科、薬業科、商業科、海洋科の4学科が、それぞれの特徴を生かした活動を展開している。また、総合的な探究の時間では、生徒が各学科の枠を超えて他学科の講座が選択できる「滑高ゼミ」等を実施している。さらに新しい技術を学び、実践的な活動による経験を積み、地域産業の担い手として活躍できるように取り組むことが必要である。	
テーマ(特色)	具体的な経験を積み、主体的に学び、行動できる人材、地域を担う人材の育成	
設定した「テーマ」の達成状況	① 薬業科:薬機法における、専門性の高い内容を学ぶことにより、地域の薬業に関わる意識を高めることができた。 ② 商業科:販売実習 模擬株式会社を設立し、姉妹都市の特産品の販売を行うことにより、販売実習経験を積むことができた。 ③ 海洋科:「滑高ゼミ」講座名(海洋科学) 学習した内容から個々の意見を発表した。さらに、他の人の意見を聞き、共感したり自分の意見を伝えたりすることができた。また、実習棟内の見学をすることによって、他学科の学習内容や取り組みを理解することができた。	
実施内容(具体的に記入する)	① 薬業科:薬の製造と分析について3年間学び、薬の富山を支える人材を育成している。しかし、薬に関する法律(薬機法)について、授業でほとんど扱うことがないので、専門家を招いて薬機法を学ぶ機会を必要としていたため、北海道大学の非常勤講師で、薬剤師の先生を招き、各学年1時間で、それぞれの学年に応じた内容での特別授業を実施し、薬機法について理解することができた。 ② 商業科:販売実習のための模擬株式会社を設立し、姉妹都市の特産品を販売した。 ③ 海洋科:「滑高ゼミ」講座名(水産海洋科学) 学習内容から、個々に意見を発表し、他の人の意見を聞き、共感したり自身の意見を伝えたりすることができた。また、海洋科の実習棟見学によって、他の学科の学習内容や取り組みを理解することができた。また講座名(機械設計工作)では、座学で学んだ内容を知識で理解するだけでなく、実際に作業を通して理解を深めることができた。また、初めて海洋科の実習棟に入った生徒ばかりであり、他学科の施設設備や学習内容の理解を深めていった。	
取組による成果(プロジェクト学習推進の観点から)	新技術を学び、実践的な活動による経験を積み、地域産業の担い手として活躍できる資質・能力を身につけることができた。	
対象者(学年・人数など)		
実施実績	4月	水産海洋科学 7名 機械設計工作 18人
	5月	水産海洋科学 7名 機械設計工作 18人
	6月	
	7月	商業科 講演会 3学年 40人
	8月	
	9月	商業科 販売実習講演会 3学年 40人
	10月	
	11月	
	12月	薬業科 講師を招いて、特別授業を実施した。各学年 3年生 38人 2年生 40人 1年生 40人
	1月	
	2月	
	3月	